

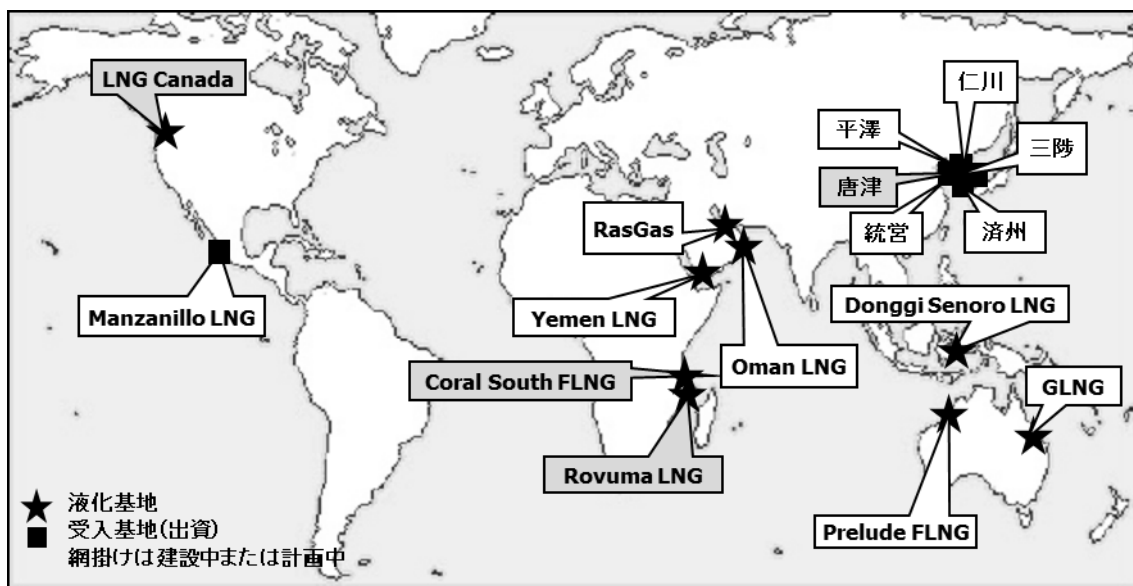
## 36. KOGAS

## (1) 企業概要

1983年に設立されたKOGAS（Korea Gas Corporation：韓国ガス公社）は、LNG輸入や卸売をほぼ独占する<sup>1</sup>国営企業である。2019年末時点の株式保有比率では、韓国政府26.15%、韓国電力公社20.47%、地方政府7.93%と、公的機関による保有が過半（54.56%）を占める。

2019年のLNG輸入量は約3,400万トンで、2015年に東京電力と中部電力がJERAを設立するまで、単一企業としては世界最大のLNG輸入者であった。KOGASは、韓国内向けのLNG調達やガスインフラ整備、ガス卸売といった従来事業に加えて、2020年3月時点で、海外13ヶ国24プロジェクトに参加している。具体的には、上流部門における探鉱段階の案件が4件、開発・生産段階の案件が9件、LNG生産プロジェクトが8件、メキシコManzanillo LNG基地への出資を含む下流部門の案件が4件である。インフラ面ではLNG受入基地5カ所と幹線パイプライン網は総延長4,908 km（2020年5月末時点）所有しており、2023年までに、総延長5,112 kmまで拡大する方針を示している。

## KOGAS の LNG 液化・受入基地図



## (2) LNG 関連

KOGASは1986年にLNG輸入を開始したが、1990年代末より液化プロジェクトにも出資している。2017年6月、モザンビークではEniが主導しRovuma堆積盆地Area 4を原料ガスとするCoral South FLNGプロジェクトに参画し、最終投資決定（FID）を行っている。2018年12月、同エリアでKOGASを含む参画企業がそれぞれRovuma LNGプロジェクトのLNG取引のコミットメントを確保し、同プロジェクトのFIDに向けて前進している。カナダで

<sup>1</sup> 卸売はKOGASが独占、LNG輸入は、KOGASの他にGS Caltex、K-Power、POSCO、KOMIPO、SKが存在する。

#### IV. 主要企業別 LNG 事業動向

は Shell が推進する LNG Canada プロジェクトに参画しており、2018 年 10 月に FID を行った。

#### KOGAS が出資する LNG プロジェクト

国名	プロジェクト名 (Train名)	液化能力 (万トン/年)	生産開始	出資者	主要 仕向地
カタール	RasGas (Train 1, 2)	660	1999年	RasGas ( Qatar Petroleum 63%, ExxonMobil 25%, KOGAS 5%, 伊藤忠商事 4%, エルエヌジージャパン 3%)	アジア 欧州
オマーン	Oman LNG (Train 1, 2)	710	2000年	Oman LNG (オマーン政府 51%, Shell 30%, Total 5.54%, KOREA LNG (KOGAS 24%, Samsung 20%, Hyundai 20%, Daewoo 20%), 5.0%, 三菱商事 2.77%, 三井物産 2.77%, Partex 2.0%, 伊藤忠商事 0.92%)	アジア 欧州
イエメン	Yemen LNG Balhaf (Train 1, 2)	670	2009年	Total 39.62%, Hunt Oil 17.22%, Yemen Gas 16.73%, SK 9.55%, KOGAS 6%, Hyundai 5.88%, イエメン社会保障・年 金庁 (GASSP) 5%	アジア 米州
インドネシア	Donggi Senoro LNG	200	2015年	Sulawesi LNG Development (三菱商事75%, KOGAS 25%)59.9%, Pertamina Hulu Energi 29%, Medco LNG Indonesia 11.1%)	アジア
オーストラリア	GLNG (Train 1)	390	2015年	Santos 30%, Petronas 27.5%, Total 27.5%, KOGAS 15%	アジア
	(Train 2)	390	2016年		
	Prelude FLNG (浮体式)	360	2018年	Shell 67.5%, INPEX 17.5%, KOGAS 10%, CPC 5%	アジア
モザンビーク	Rovuma LNG	1,520	2025年 (計画中)	Mozambique Rovuma Venture (Eni 35.7%, CNPC 28.6%, ExxonMobil 35.7%) 70%, Galp Energia 10%, ENH 10%, KOGAS 10%	N.A.
	Coral FLNG (浮体式)	340	2022年 (建設中)		N.A.
カナダ	LNG Canada (Train 1, 2)	1,400	2020年代中頃 (建設中)	Shell 40%, Petronas 25%, PetroChina 15%, 三菱商事 15%, KOGAS 5%	N.A.

LNG 受入基地については、2020 年 1 月、唐津 LNG 受入基地の本格着工を発表した。基地関連施設が 2031 年までに順次設置されることに加えて、約 121 km のパイプラインと 10 箇所  
の供給制御センターが天然ガス輸送のために建設される。2019 年 10 月、済州 LNG 受入基  
地が完成し、済州コンバインドサイクル発電所等に天然ガスを供給し、2020 年 3 月、済州  
市の 27,000 世帯への天然ガス供給を開始した。

LNG 契約については、2019 年 9 月、bp との間で 2025 年から 15 年間、年間 158 万トンの  
LNG を購入する契約を締結した。

その他、LNG 技術関連については、2020 年 6 月、Eni とエネルギー分野に関する協力協  
定 MOU を締結した。上流の資源開発や生産、LNG プロジェクト、下流ビジネスやインフラ  
プロジェクト等様々なエリアで協力していく。

#### KOGAS が出資する受入基地

国名	基地名	出資者	受入能力 (万トン/年)	受入開始
韓国	平澤 (Pyeong Taek)	KOGAS	3,810	1986
	仁川 (Incheon)	KOGAS	4,170	1996
	統営 (Tong Yeong)	KOGAS	2,490	2002
	三陟 (Samcheok)	KOGAS	1,090	2014
	済州 (Jeju)	KOGAS	40	2019
	唐津 (Dangjing)	KOGAS	N.A.	2025 (計画中)
メキシコ	Manzanillo	KOGAS 25.0%, 三星物産 37.5%, 三井物産 37.5%	380	2012

## KOGAS の LNG 契約

輸出国	プロジェクト	契約期間 (契約年数)	契約数量 (万吨/年)	受渡条件
インドネシア	Donggi Senoro	2015-2028年 (13年)	70	FOB
マレーシア	MLNG III (Tiga)	2008-2028年 (20年)	最大200	DES
オーストラリア	GLNG	2016-2036年 (20年)	350	FOB
カタール	RasGas I	1999-2024年 (25年)	492	FOB
	RasGas 3	2007-2026年 (19年)	210	DES
		2012-2032年 (20年)	200	DES
オマーン	Oman LNG	2000-2024年 (25年)	400	FOB
イエメン	Yemen LNG	2008-2028年 (20年)	200	FOB
ロシア	Sakhalin 2	2008-2028年 (20年)	150	FOB
アメリカ	Sabine Pass LNG(Train 3)	2017-2037年 (20年+Option10年)	280	FOB
Shell Eastern Trading による 複数の供給源(ポートフォリオ契約)		2013-2038年 (26年)	最大364	DES
Totalによる 複数の供給源(ポートフォリオ契約)		2014-2032年 (18年)	200	DES
bplによる 複数の供給源(ポートフォリオ契約)		2025-2040年 (25年)	158	N.A.

## (3) 今後の戦略

2016年6月には、韓国政府が2025年からKOGASによる独占を解消し、LNG輸入・販売自由化の方針を打ち出している。2018年7月に公開されたKOGAS 2025ビジネス戦略では、2025年までLNG貯蔵設備と海外上流案件に10兆ウォン(約1兆円)を投資すると表明し、またLNGバンカリングと水素自動車インフラも拡大する方針である。

バンカリング事業では、2020年2月、Shellの18,000 m<sup>3</sup>クラスLNGバンカリング船チャーター事業に共同参加(40%出資)した。契約期間は5年で、最長2年まで延長できる。2020年7月、釜山港湾公社など5社とLNGバンカリング合弁会社を10月までに設立することを発表した。2030年までに船舶用のLNG 136万吨の販売、および1兆ウォン(約1千億円)の売上を目標としている。

水素事業計画では、インフラ網の整備に注力しており、2030年までに水素製造プラント25基、水素充填ステーション100件とパイプライン700 kmに拡張する計画となっている。2019年3月、韓国ガス公社(KOGAS)や現代自動車を始めとする13社が参加する水素エネルギーネットワーク(HyNet)は、オーストラリアWoodsideからの出資を得ている。2020年7月、現代自動車との共同事業として、水素、LNG、電気の複合型充填所の構築と運営のための合弁会社設立に加え、海外水素の導入、液化水素製造とそのインフラ技術、CO<sub>2</sub>回収及び低減等の技術関連で協力していくと発表した。